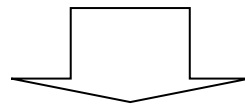


	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く力や、工夫しながら書こうとすること。 ・基礎・基本の学習を活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の意見やその理由」「条件に合わせた物事の説明」など、目的に応じた短文を書く活動に焦点を絞り、継続して日常的に取り組むようにする。 ・主体的・対話的で深い学びを意識した単元学習を継続して実施する。特に、読みの単元においては、考えを書いたり友達と話し合ったりする場を必ず取り入れ、考え表現する時間の確保を心がける。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取り、正しい知識を用いて、考察したり表現したりすること。 ・地図記号、方位などの基礎的な事項を理解すること。 ・基礎・基本の学習を活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ、写真、表など視覚的にわかる資料を提示し、そこから何が読み取れるかを考えさせ、資料を読み取ることができるようにする。 ・身近な話題を取り上げ、地図帳を活用して地図記号や方位を確かめる時間を確保する。 ・「問題に気付く→学習課題を作る→計画を立て、学習問題を追及する→まとめる」という学習の流れが明確にして、定着できるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な加減乗除の意味を理解していること。(筆算を含む)。 ・「数と計算」に関わる領域を理解し計算すること。 ・基礎・基本の学習理解を基に、課題について考察し、数学的な根拠を基に表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立解決の時間を確保し、計算問題に繰り返し取り組めるようにする。 ・少数のしくみや加減乗除の計算の仕方を全体で取り組み、確かめる時間を確保する。 ・自分の考えを分かりやすく表す方法として、言葉での説明、式に表す、表にする、図で表すなど多様な表現方法を提示し、習得できるようにしていく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果から、結論を導き出すこと。 ・根拠を示して論理的に表現すること。 ・学習したことを日常生活に結び付けて考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題→予想→実験計画→結果→考察」の問題解決の流れが明確になるように、板書やノートをまとめられるようにする。 ・自分の考えをまとめる時間を確保し、言葉だけでなく絵、表、図で表現できるようにしていく。 ・身の回りの事象を、働きや時間などと関係付けて考えることができるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにすること。 ・協力、公正などの態度で運動に取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入時に、運動の特性やルールなどの大枠の基本的な指導を行う。展開次、実際の活動で児童の主体的な発言を基にルールを変えたり、技能を向上させる方法を指導したりする流れとなるようにする。 ・準備・片付けの手順やルールの改善などで指導や話し合いが必要な際は、学活や体育の中で十分に時間を確保する。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値について、自ら進んで考えること。 ・友達と考えを交わしたり、さらに考えを深めてノートに書いたり、表現したりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間ごとの教材研究を十分に確保し、児童が主体的に考えようとする発問・展開を準備する。 ・話し合う時間や全体で共有する時間、ノートなどに思いを書きとめる時間を、授業の中で必ず取り入れるようにする。

総合	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、様々な資料や方法で調べ学習を進め、有効に活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料、新聞、インターネット、インタビューなどの基本的な利用方法や技能の指導を積極的に授業で取り扱う。(特に、2学期はインターネット、新聞。3学期はインタビュー活動。)
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取ること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな色や食べ物、持ち物など自分の身の回りの物を表す語句を、イラストや写真などを提示しながら聞き取れるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら様々な音楽に親しむこと。 曲の特徴をとらえた表現を工夫し、どのように表すか思いや意図をもつこと。 基礎基本を理解して、表したい音楽表現をするための技能を身につけること。 楽器を大切に扱ったり、挨拶をしっかりしたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時のねらいを明確にし、個人の学習活動を保証すると同時にペア、グループ学習を有効に取り入れる。 児童の発言を生かし、表現や自分の思いに対して自信をもてるように導く。 身近な楽曲を使ったりコーダー教材を使用したり身体表現を生かした常時活動を取り入れたりする。 掲示物と声掛けを習慣化するようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 身近な材料や場所から、自ら造形的な活動を思いつき、表したいイメージをもったり、表し方の工夫を考えたりしながら手や体全体を動かし工夫を重ねること。 主体的に表現すること。 身近にある作品から、造形的なよさや表し方の工夫などを感じ、自分の見方や感じ方を広げること。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が活動しやすい場の設定を考える。必要に応じて図工室以外での活動も取り入れていく。 模倣も認めつつ、少しずつ自分なりの表現に発展していけるよう声をかけていく。手立てとして、発想の補助となるような資料やワークシートを適宜用意する。 鑑賞の際、いくつかの視点を提示し、気づきを深めることができるよう指導にあたる。



	成果○ と 課題▼
国語	<p>○自分の考えについて根拠をはっきりさせてノートにまとめることができるようになってきた。自分なりにまとめ方を工夫している児童も増えた。ノートが学習の軌跡として役立つということが少しずつ、浸透した。また、文章全体をいつも見渡しながら読み取っていく方法に児童が慣れてきている。大切な叙述にサイドラインを引き、それを手がかりに要約したり、心情の変化を読み取ったりできるようになってきた。</p> <p>○児童と共に単元の終末活動を見通して学習計画を進める授業が定着し、積極的に学ぼう、楽しく学習するといった姿が増えてきている。また、そのことにより、学習経験の積み重なりを感じるようになった。</p> <p>▼自分の考えをノートには書けているが、全体の交流の場で積極的な発言につなげるには、まだ課題がある。教師側で意図的な指名をしたり、ノートに書いた考えをほめて自信をもたせたりしていくことが今後必要である。また交流の方法も工夫が必要である。</p>

社会	<p>○地図帳を活用することで、地図記号の読み方を始め学習における資料活用能力が向上した。</p> <p>○学習の中で、生活と関連させた話題を提示することで、家庭や学校生活などの他の場面で学習と関わる事項を話題にあげたり発展的に調べたりする児童が出てきている。</p> <p>▼学習の流れの中で、ガイドブック、ポスターなどの表現方法をより工夫し、自分たちの調べたことを効果的にまとめる児童が増えてきた。単元の計画を立てるときに、校外学習や他の行事との兼ね合いなども考えていく必要がある。</p>
算数	<p>○コースごとのクラス分けにより、より意欲的に学習することにつながっていた。</p> <p>▼単元末にまとめのテストを行うことが定着に時間がかかるじっくりコースでは練習時間を確保できないこともあり課題が残るため工夫や改善をしていく。</p>
理科	<p>○1年を通して、実験や観察の記録の仕方や、考察の書き方を同じ方法で取り組んできたので、問題解決の流れを意識できるようになった。予想や結果を、言葉だけでなく絵や図や表にして、自分の考えを書ける児童が増えてきた。</p> <p>▼教師が、予備実験や器具の準備などを十分行い、さらに実験がスムーズに行えるようにしていく。</p>
体育	<p>○整列や準備を素早くすることで、活動の時間が確保できることを意識して動けるようになった。</p> <p>○休み時間や朝のタイムの時間などを使って、チームで練習をしたり、ゲームの作戦を考えたりしていた。また、どのようなルールを作ったら、全員がゲームに参加できるようになるかなどを話し合い、ゲームを取り組むことができた。</p> <p>○学習カードを使うことで、児童一人一人がめあてをもち、学習の振り返りができた。次時の意欲向上につながった。</p> <p>▼個別の課題に対して、どのようにしたらできるようになるかを的確に助言したり、練習方法を提示したりするなど、今後も工夫していく。</p>
道徳	<p>○特に学校の重点項目に挙げられている内容項目の資料について、友達と意見を交わしながら考える場面を設けることで、価値の理解を深める機会が増えてきた。また、個人差はあるものの自分なりの考えをワークシートやノートに書くこともできるようになっている。</p> <p>▼指導上の発問や取り組みの中で児童の考えの深まりに手ごたえを感じにくい内容項目もある。また、自分に置き換えて考えたり、価値について深く考えたりすることが難しい児童もいる。考えるきっかけとなる発問や教材の視覚化（板書）などの工夫をさらに研究していく必要がある。</p>
総合	<p>○2学期の「3R大作戦」では、それぞれが関心をもったことを調べて発表できた。インターネットや、新聞、図書資料を、家庭ごみや学校で出されるゴミについて調査を行い意欲的に取り組めた。発表ではクイズや新聞にする等できた。</p> <p>○3学期の「2分の1成人式を祝おう」では、保護者へのインタビューを通して自分の10年間を振り返ったり、今の自分を見つめたりして、自分の選んだ方法でアルバムをまとめることができた。</p> <p>▼インターネットでの調べ学習で、パソコンを活用することはできた。しかし、児童が主体的に画像を取り入れたり文をまとめたりという発表での活用は今後の課題である。継続して、様々な調べ方やまとめ方があることを知らせていく。</p>
外国語活動	<p>○自分の好きな色や食べ物、持ち物など自分の身の回りの物を表す語句を、イラストや写真などを提示しながら行うことで少しずつ聞き取れるようになってきている。</p> <p>▼苦手意識が強い児童にとって、内容によっては、なかなか積極的に取り組めないことがあったため今後の指導の工夫をしていく。</p>

音楽	<p>○音楽会の発表を通して、学年全体で意欲的に合奏、合唱に取り組むことができた。特に合奏ではリコーダー、鍵盤ハーモニカの技能習得のために、全員が繰り返し練習に取り組み、基礎的な能力の向上が見られた。3学期末には高音（サミング）の運指を用いた楽曲を演奏することができた。</p> <p>○和楽器（箏、和太鼓等）を取り入れた学習に取り組み、興味関心を高めることができた。</p> <p>▼グループで歌唱表現を考える活動に取り組んだ際、グループ内で協力しあう姿は見られたが、個々の思いを深め、友達と共感し合うところまではいかなかった。一人一人が曲想を感じ取り、言語化し、表現につなげていく学習を身につけられるように年間指導計画を組む。</p>
図工	<p>○活動場所が限られているにも関わらず、お互いが協力し合って動き、全員で活動を楽しむことができた。</p> <p>○異なる題材に自分の考えたキャラクターをもう一度登場させるなど、自分の作品に愛着をもって製作を楽しむ姿が見られた。</p> <p>○友達の作品に興味をもち積極的で見ている。また、鑑賞で気が付いたことを自分の表現に生かしている。</p> <p>▼同じモチーフや同じような世界観の表現からなかなか広がらないことがあった。自分の好きな世界観を大切にしながら、他のモチーフや世界観にも広げていけるよう題材設定や導入の仕方を工夫していく。</p>